



2023年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年3月16日

上場会社名 株式会社ファーストロジック
コード番号 6037 URL <https://www.firstlogic.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂口 直大
問合せ先責任者 (役職名) 管理部経理財務グループリーダー (氏名) 渡邊 賢太郎
四半期報告書提出予定日 2023年3月16日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6833-4576

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第2四半期の業績(2022年8月1日～2023年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	1,034	11.5	559	14.5	559	14.4	366	15.0
2022年7月期第2四半期	928	11.4	488	15.1	489	15.1	318	23.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	33.76	
2022年7月期第2四半期	28.80	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期第2四半期	4,989	4,543	91.1	419.05
2022年7月期	4,705	4,364	92.8	399.49

(参考)自己資本 2023年7月期第2四半期 4,543百万円 2022年7月期 4,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期		0.00		11.00	11.00
2023年7月期		0.00			
2023年7月期(予想)				13.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年7月期の業績予想(2022年8月1日～2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	6.6	1,050	3.6	1,050	3.6	686	0.0	62.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年7月期2Q	11,844,400 株	2022年7月期	11,844,400 株
期末自己株式数	2023年7月期2Q	1,001,521 株	2022年7月期	919,521 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年7月期2Q	10,842,879 株	2022年7月期2Q	11,071,089 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業務等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が継続する中、経済活動は正常化が進み一定の回復傾向にあるものの、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れリスクや、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー価格の高騰などから、先行きは不透明な状況であります。

このような環境の下、当社は「公正な不動産投資市場を創造する」をビジョンとして、不動産投資ポータルサイト「楽待」を運営してまいりました。

「楽待」では、有料会員サービス「楽待プレミアム」をリリースし、不動産投資家への有益なコンテンツを充実させ、会員数の増加策を図るとともに、不動産会社への営業強化を行ってまいりました。特に「楽待公式YouTubeチャンネル」において、わかりやすく不動産投資に関する情報を配信し、「楽待不動産投資相談室」で不動産投資に関する不安や疑問を解決することで、会員の増加と「楽待」の利用価値の向上に寄与していると考えております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の営業収益は、1,034,737千円（前年同期比11.5%増）となり、営業利益は559,565千円（前年同期比14.5%増）、経常利益は559,565千円（前年同期比14.4%増）、四半期純利益は366,691千円（前年同期比15.0%増）となっております。また、第2四半期までの累計ページビュー（PV）数は67,359千PV（前年同期比5.1%減）、「楽待」ウェブサイト会員数は334千人（前年同期比15.4%増）、物件掲載数は51千件（前年同期比0.4%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は4,989,912千円となり、前事業年度末と比較して284,868千円の増加となりました。その主な原因は、以下のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は4,781,238千円となり、前事業年度末と比較して279,901千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が324,420千円増加及びその他が67,355千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は208,674千円となり、前事業年度末と比較して4,966千円の増加となりました。これは主に繰延税金資産が4,830千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は446,206千円となり、前事業年度と比較して105,518千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が71,588千円及び前受金が26,358千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は4,543,706千円となり、前事業年度末と比較して179,349千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が246,518千円増加及び自己株式が67,168千円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して324,420千円増加し、4,425,736千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動により獲得した資金は、524,966千円となりました。これは主に税引前四半期純利益559,565千円を計上した一方で、その他の増加額72,956千円及び法人税等の支払額126,116千円が生じたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動により使用した資金は、14,738千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,030千円及び無形固定資産の取得による支出12,708千円が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動により使用した資金は、185,807千円となりました。これは自己株式の取得による支出67,168千円及び配当金の支払額118,638千円が生じたことによるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、2022年9月21日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,101,315	4,425,736
売掛金	305,831	331,498
前払費用	10,797	8,543
その他	85,081	17,726
貸倒引当金	△1,689	△2,266
流動資産合計	4,501,336	4,781,238
固定資産		
有形固定資産	47,400	45,845
無形固定資産	56,520	58,816
投資その他の資産		
敷金	66,455	65,849
破産更生債権等	220	363
繰延税金資産	33,332	38,163
貸倒引当金	△220	△363
投資その他の資産合計	99,787	104,012
固定資産合計	203,708	208,674
資産合計	4,705,044	4,989,912
負債の部		
流動負債		
未払金	42,665	45,350
未払費用	7,332	7,355
未払法人税等	126,269	197,857
未払消費税等	28,094	36,151
前受金	73,287	99,645
預り金	21,837	16,645
賞与引当金	41,200	43,200
流動負債合計	340,687	446,206
負債合計	340,687	446,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,357	87,357
資本剰余金	968,086	968,086
利益剰余金	4,015,475	4,261,993
自己株式	△706,561	△773,730
株主資本合計	4,364,357	4,543,706
純資産合計	4,364,357	4,543,706
負債純資産合計	4,705,044	4,989,912

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
営業収益	928,365	1,034,737
営業費用	439,807	475,172
営業利益	488,558	559,565
営業外収益		
受取利息	17	19
受取賃貸料	660	—
雑収入	69	316
営業外収益合計	746	336
営業外費用		
支払手数料	223	335
営業外費用合計	223	335
経常利益	489,082	559,565
特別損失		
本社移転費用	2,134	—
固定資産除却損	201	—
特別損失合計	2,335	—
税引前四半期純利益	486,746	559,565
法人税、住民税及び事業税	136,567	197,704
法人税等調整額	31,383	△4,830
法人税等合計	167,950	192,873
四半期純利益	318,796	366,691

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	486,746	559,565
減価償却費	34,490	13,997
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,295	719
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,800	2,000
本社移転損失引当金の増減額 (△は減少)	△48,000	—
受取利息	△17	△19
売上債権の増減額 (△は増加)	486	△25,666
未払金の増減額 (△は減少)	△33,919	1,149
未払費用の増減額 (△は減少)	1,501	22
前受金の増減額 (△は減少)	42,446	26,358
その他	△70,697	72,936
小計	415,543	651,063
利息の受取額	17	19
法人税等の支払額	△177,570	△126,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,989	524,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金及び保証金の差入による支出	△772	—
敷金及び保証金の回収による収入	422	—
有形固定資産の取得による支出	△26,727	△2,030
無形固定資産の取得による支出	△9,342	△12,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,419	△14,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△44,624	△67,168
配当金の支払額	△109,392	△118,638
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,017	△185,807
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,552	324,420
現金及び現金同等物の期首残高	3,572,957	4,101,315
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,620,510	4,425,736

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)

当社は、不動産投資ポータルサイト事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。